

表9 全死亡及び三大死因による死亡率の推移

死亡数は、8,783人で前年より104人増加しており、死亡率は、6.4で前年と同数であった。死因別では、第1位・悪性新生物、第2位・心疾患、第3位・脳血管疾患となっている。

		平成11年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
粗 死 亡 率	全死亡	584.9	560.1	570.9	570.0	584.2	580.6	622.8	614.6	628.9	643.4	642.4
	悪性新生物	184.0	182.5	189.6	195.4	189.0	198.4	207.1	208.9	206.7	203.8	211.2
	脳血管疾患	87.2	77.3	72.4	73.3	81.6	70.2	75.1	71.4	67.3	69.2	67.4
	心疾患	78.2	74.8	83.2	80.5	80.7	87.1	94.8	90.8	97.6	97.8	95.5
死 年 齢 調 整 率	全死亡	181.9	168.2	166.3	154.5	157.3	150.0	153.9	152.3	149.9	145.1	142.0
	悪性新生物	56.2	54.8	54.9	52.8	51.2	50.8	50.6	51.5	49.2	48.0	46.8
	脳血管疾患	21.4	18.5	16.5	15.1	16.6	13.6	14.4	12.7	12.3	12.1	11.4
	心疾患	20.6	17.7	20.0	18.9	18.5	19.4	21.0	18.8	19.4	18.1	18.5

注) 年齢調整死亡率の基準人口は昭和40年川崎市人口

資料：庶務課「人口動態調査(指定統計)」より